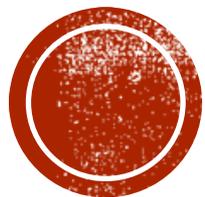


水耕栽培容器試作

エコギャラリー新宿

2020夏





資材 & 道具



容器：オープンパック（これは100均のもの）（※）

ポット：ヨーグルトの空き容器（※）（※）いずれもあるもので可

毛管布：フェルト

道具：カッター、油性ペン。目打ち

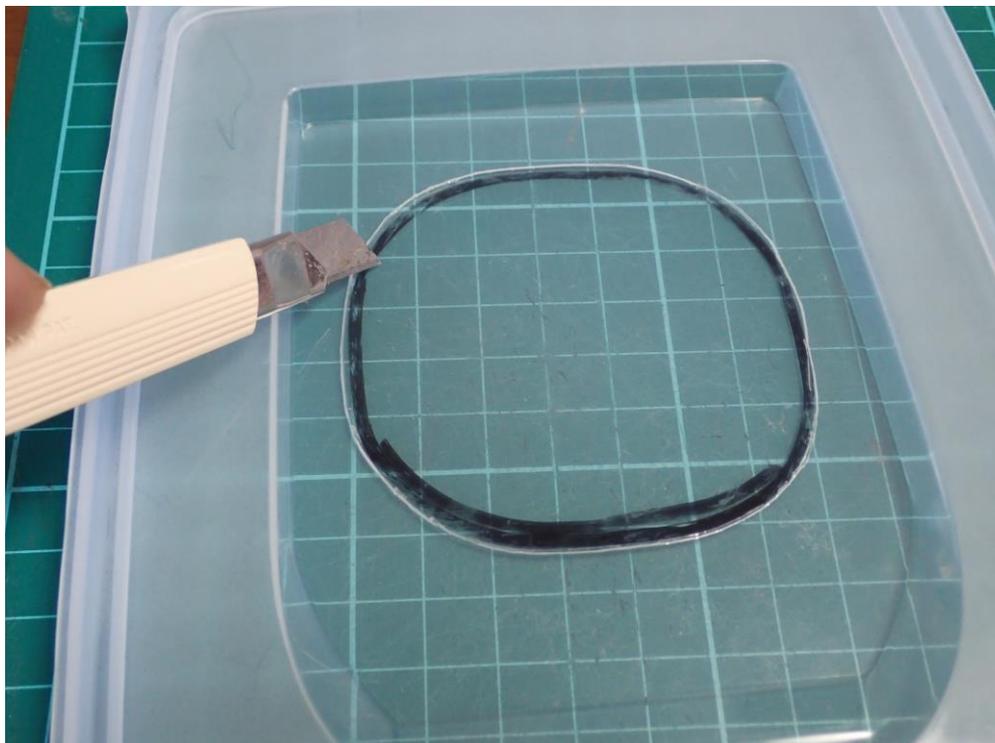
液体肥料

1



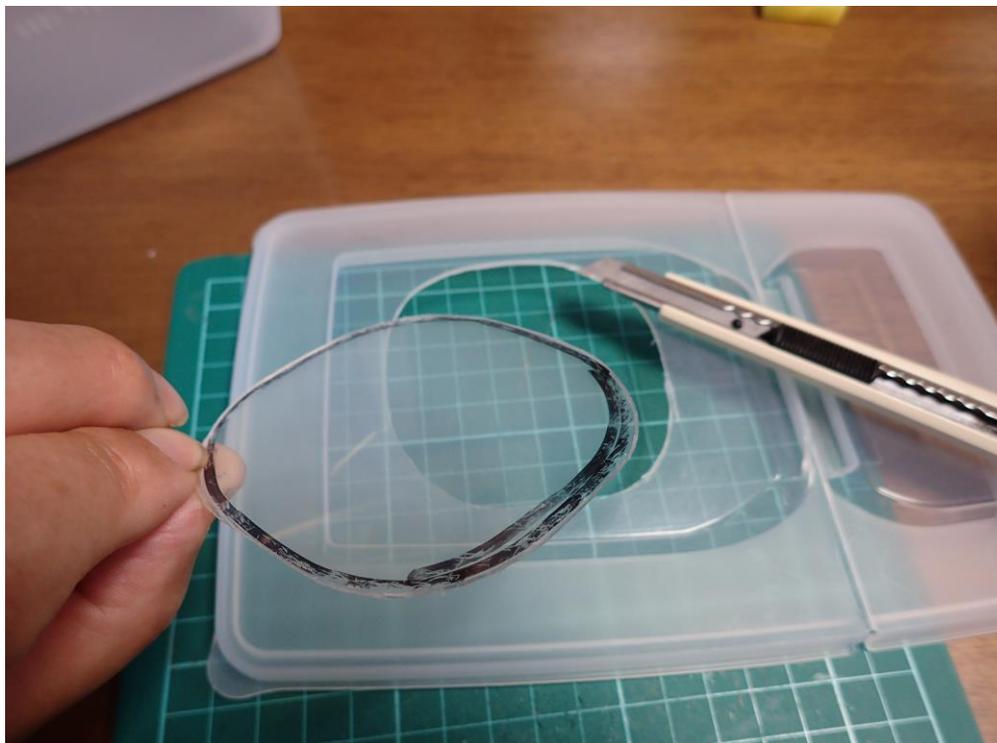
容器の蓋にポットの底を当てて、油性ペンでトレースする

2



- トレースされた線の外側をカッターで切っていく。
- 材質が固い場合は、いっぺんで切ろうとしないで、何周かするつもりで、少しずつ深く切っていく。

3



- 切れました。

4



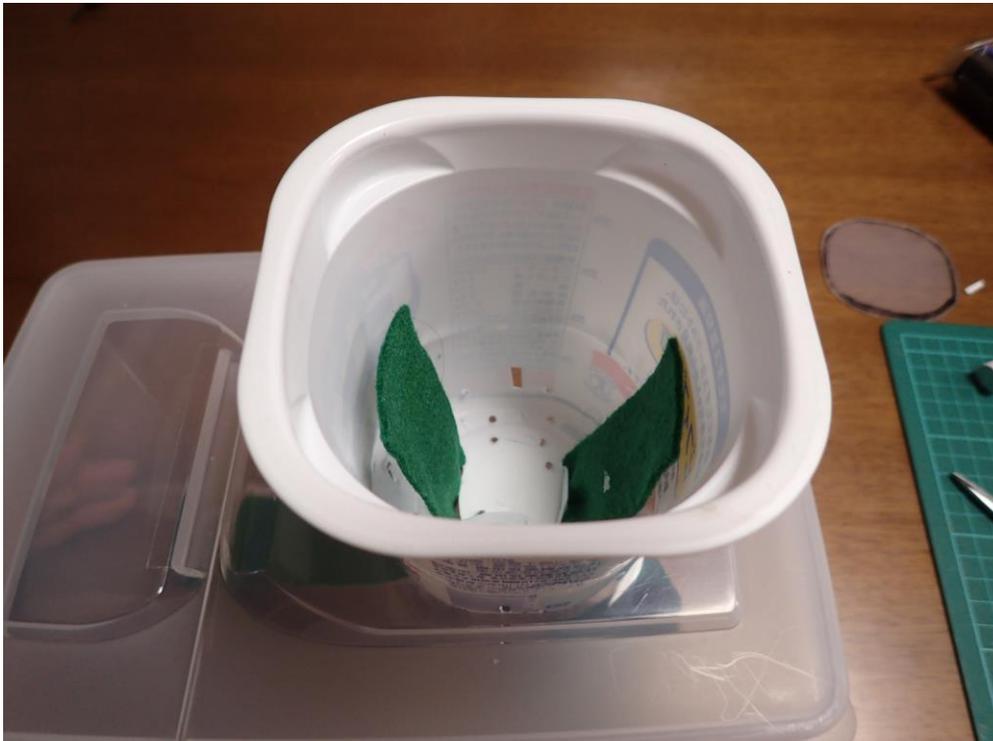
- ポットを装着して、隙間や歪みがあれば修正する。

5



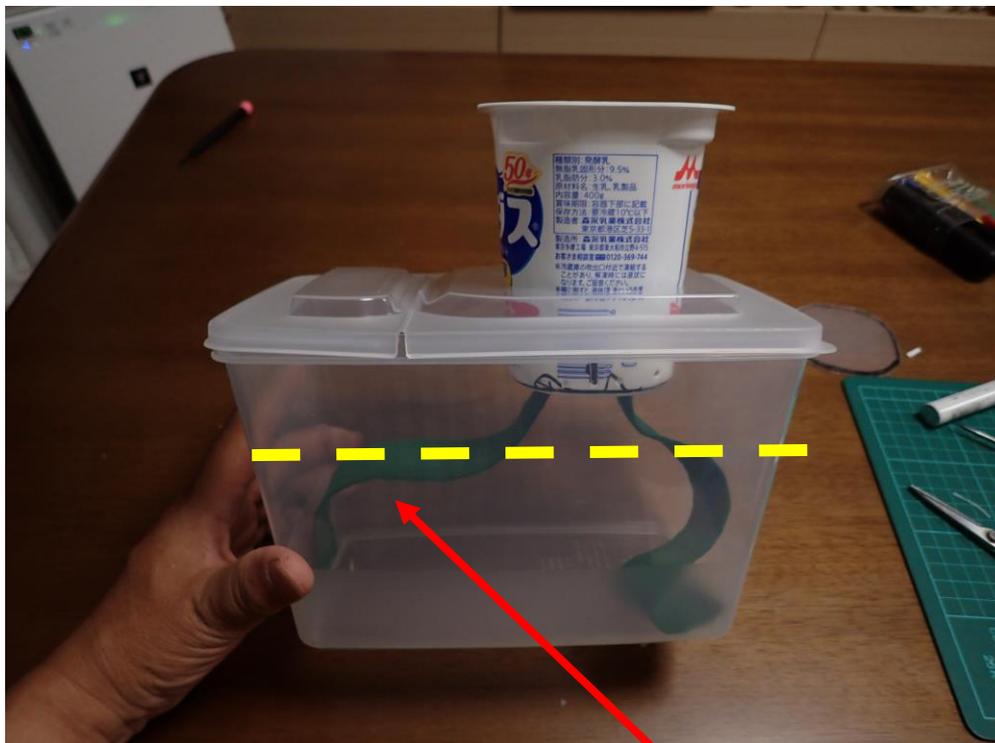
- ポットの底と側面に目打ちで穴を開ける。底には毛管布を通すスリットも開ける。

6



- ポットの底スリットに、毛管用のフェルトを通す。

7



● これで完成

液肥はこのあたりまで入れる
(ポットの底には触れない)

● 苗の準備

8



- 苗を根を切らないように、ていねいに鉢から取りだす。

● 苗の準備

9



- 水を入れたバケツの中で、苗の根鉢を洗って土を落とす。

● 苗の準備

10



- 培地用の土で、ポットに苗を植える。

● 液体肥料の準備

11



- 水耕栽培用の液肥を規定通りに調合する。

12



- 水耕栽培容器に定量ラインまで液肥を入れる。

13



- 出来上がり

● エコギャラリー新宿2階のテラスにてテスト中

14



根が鉢底から
出てきて、液
肥に到達



液肥容器部分は、苔が発生しないように、黒のビニール袋で遮蔽している

液肥は残量が2割を切ったら、補充します。